

## NTT株

株高である。株が上がると企業活動が活発となり、個人消費も増える。資産効果と言われる現象である。株が上がり始めると、不肖私も株を買いたくなる。しかし、それが出来ない。稟議が通らないのである。「あなたは株の才能が無い」という一言で拒否される。1株255万円で買ったNTT株2株を損切りできず持ち続けてきたトラウマが今も残っている。



(竹内)

## 消費税率引上げに伴う経過措置

平成24年8月22日に公布された「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律」により、地方消費税を含めた消費税率は、「平成26年4月1日から8%」に、「平成27年10月1日からは10%」に引上げが行われることになりました。

この結果、施行日（平成26年4月1日）以後に行う取引については新税率（8%）が適用され、また施行日前に行う取引については旧税率（5%）が適用されます。つまり、資産の譲渡等及び課税仕入れ等が行われた日が平成26年4月1日前か否かにより適用税率が異なるわけです。

しかしながら、前売り等で料金を領収する旅客運賃や、長期の請負工事など、契約や取引の実態から平成26年4月1日以後に行われる資産の譲渡等について新税率を適用することができない取引があります。

このような一定の取引については、平成26年4月1日以後に資産の譲渡等が行われた場合であっても旧税率を適用する経過措置が設けられています。

取引	経過措置
旅客運賃等に関する経過措置	施行日前に旅客運賃等を領収しているもので施行日以後に乗車等されるものは旧税率適用
電気・ガス・水道等の供給に関する経過措置	施行日前から継続して行われる供給等で施行日から平成26年4月30日までの間に検針等で料金が確定するものは旧税率適用
工事の請負等に関する経過措置	指定日（平成25年10月1日）の前日までに締結した工事の請負に係る契約に基づき、施行日以後に資産の譲渡等を行うものは旧税率適用
資産の貸付けに関する経過措置	指定日（平成25年10月1日）の前日までに締結した資産の貸付けに係る契約に基づき、施行日前から施行日以後引き続き行われる資産の貸付けで、一定の要件を満たすものは旧税率適用
役務の提供に関する経過措置	指定日（平成25年10月1日）の前日までに締結した役務の提供に係る契約に基づき、施行日以後に行われる役務の提供で一定の要件を満たすものは旧税率適用
長期割賦販売等に関する経過措置	平成26年4月1日以前に行った長期割賦販売等に係る賦払金の支払期日が施行日以後に到来するものは旧税率適用
長期工事の請負等に関する経過措置	指定日（平成25年10月1日）から施行日（平成26年4月1日）の前日までの間に締結した長期大規模工事等の請負に係る契約に基づき、施行日以後に引渡しを行うものにつき、工事進行基準の適用に係る一定金額部分については旧税率適用

(大寺)

## 研修会のご案内

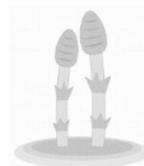
下記の日程で研修会を開催いたします。

役職員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成25年4月12日（金）

14:00~16:40

場所 徳島県立障害者プラザ 3F研修室1



### ①雇用保険料率のお知らせ

平成25年度の雇用保険料率は、平成24年度と変わらず次のとおりです。

事業の種類	平成25年度		
	① 被保険者負担率	② 事業主負担率	①+② 保険率
一般の事業	5/1000	8.5/1000	13.5/1000
農林水産 清酒製造の事業	6/1000	9.5/1000	15.5/1000
建設の事業	6/1000	10.5/1000	16.5/1000

### ②協会けんぽ保険料率のお知らせ

平成25年度の協会けんぽの健康保険・介護保険料率は据置きとなり、変わりません。

保険料	平成25年度		
	① 被保険者負担率	② 事業主負担率	①+② 保険率
健康保険料	5.04%	5.04%	10.08%
介護保険料 (40歳~64歳の方)	0.775%	0.775%	1.55%
厚生年金保険料 (平成25年8月分まで)	8.383%	8.383%	16.766%

### ③障害者の法定雇用率引き上げのお知らせ

民間企業 現行 1.8% → 平成25年4月1日以降 2.0%

\*障害者を雇用しなければならない事業主の範囲が従業員56人以上から50人以上に変わります。

### 4月の社会保険労務

- 10日 一括有期事業開始届く概算保険料160万円未満：請負金額19,000万円未満の工事＞（労働基準監督署）
- 30日 労働者死傷病報告書の提出く休業4日未満1月～3月分＞（労働基準監督署）  
健保・厚年の保険料納付（郵便局または銀行）  
預金管理状況報告（労働基準監督署）  
健保印紙受払等報告書・雇保印紙保険料納付（使用）状況報告書提出（年金事務所・公共職業安定所）

支給事由を同一にする被用者年金の受給権を有する基礎年金受給権者（誕生月を迎える者）現況届  
旧国民年金（老齢・通老）受給権者（誕生月を迎える者）現況届

※ 世界保健デー（7日）



（徳永）

### 建設係 ～ 消費税の経過措置 ～

平成26年4月の消費税率8%引き上げに伴う経過措置が公表されました。

消費税は引渡時に課税されるのが原則ですが、注文住宅やリフォーム、マンションの大規模修繕などの請負契約を、引き上げの半年前の平成25年9月末までに結んでいれば、引渡が平成26年4月以降であっても5%の税率が適用されます。建売住宅や分譲マンションは原則、経過措置の対象外ですが、内外装を一部変えるなどの注文工事を伴う場合は5%となります。

（岸上）

### 医療係 ～ 法人成のメリット・デメリット ～

医院や歯科医院を個人経営されている方が、法人で経営するとどういったメリット、デメリットがあるかを紹介します。

メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇個人と比べて最高税率が低いので、利益が増えるほど節税メリットが高い（個人：所得税と住民税の合計は所得の金額によって15%～50%、法人：法人税と地方税の合計で約30%～35%）</li> <li>◇経営者に対する給料（役員報酬）支給が認められる。（給与所得控除の適用）ただし、報酬額の変更は原則事業年度開始から3ヶ月以内。</li> <li>◇経営者に対する退職金支給が認められる。</li> <li>◇繰越欠損金の繰越控除が9年になる（個人は3年）</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇設立時、役員の任期更新など登記費用がかかる（設立時で約42万円、役員更新で約4万円）</li> <li>◇交際費の損金算入の制限がある（年600万円までは90%を損金処理することが可能）</li> <li>◇原則として社会保険加入の義務がある（個人事業の場合は従業員が5人以上で強制適用）</li> <li>◇（医療法人の場合は）解散時の資産は国等に帰属する</li> </ul>

※上記記載内容は平成25年3月末現在の内容です。

今後、税制改正により所得税の最高税率引き上げ（40%→45%）があれば、なお法人成へのメリットが出てくるのではないのでしょうか。

（後藤）

会計係 ～ 計算書類の注記表について① ～

会社計算規則では、重要な会計方針に係る事項に関する注記等の項目に区分して、原則として個別注記表を表示するよう要求されています。また、それら以外であって、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書により会社の財産又は損益の状態を正確に判断するために必要な事項は注記しなければなりません（下表参照）。

項目	記載の要否			
	ア	イ	ウ	エ
1 継続企業の前提に関する注記	○	○	－	－
2 重要な会計方針に関する注記	○	○	○	○
3 貸借対照表等に関する注記	○	○	○	－
4 損益計算書に関する注記	○	○	○	－
5 株主資本等変動計算書に関する注記	○	○	○	○
6 税効果会計に関する注記	○	○	○	－
7 リースにより使用する固定資産に関する注記	○	○	○	－
8 金融商品に関する注記※	○	○	○	－
9 賃貸等不動産に関する注記※	○	○	○	－
10 持分法損益等に関する注記※	○	－	－	－
11 関連当事者との取引に関する注記	○	○	○	－
12 1株当たり情報に関する注記	○	○	○	－
13 重要な後発事象に関する注記	○	○	○	－
14 連結配当規制適用会社に関する注記	○	○	－	－
15 その他の注記	○	○	○	○



ア：会計監査人設置会社で有価証券報告書提出会社  
 イ：会計監査人設置会社でア以外の会社  
 ウ：会計監査人設置会社以外の公開会社  
 エ：会計監査人設置会社以外の非公開会社

※連結注記表を作成している会社は、個別注記表においては注記を要しません。

なお「公開会社」とは会社法2条5号に定義されている、株式に譲渡制限を定めていない会社のことをいいます。

詳しくは来月からお伝えします。

(渡邊)

資産税係 ～平成25年度税制改正大綱②（贈与税）～

贈与税については、最高税率を相続税と同様に55%に引き上げ、暦年課税の贈与税の税率構造を、一般の贈与と、20歳以上の者が直系尊属から受けた贈与に区分し、子や孫への贈与については一般の贈与よりも低い税率となる予定です。

相続時精算課税制度では、贈与者の年齢を60歳以上の者に引き下げ、受贈者に20歳以上の孫が加えられます。

この贈与税の見直しは、平成27年1月1日以後の贈与から適用される予定です。

また、祖父母や父母などの直系尊属が、金融機関に開設した子や孫名義の口座に**教育資金を一括して贈与**した場合に、子や孫一人当たり**1,500万円まで非課税**とする贈与税の特例措置が創設されます。教育資金の用途は金融機関が領収書等で確認するとされ、子や孫が30歳に達する日に口座等は終了となります。この時点で使い切れていない場合には、**贈与税がかかる**点に注意が必要です。この特例は平成25年4月1日から27年12月31日までの贈与に適用される予定です。

(坂田)

リスマネ委員会 ～上手な保険の選び方～

	加入目的	保険金額	
個人契約	遺族の保障のために加入 病気や入院に備える 相続対策 老後資金の準備	何歳まで保障が必要か  将来の必要資金額	契約者（保険料負担者）被保険者と保険金受取人が誰であるかにより、受取時の課税関係が変わります。（所得税、相続税、贈与税のいずれか）
法人契約	事業保障 資金準備 利益対策	必要資金額のうちいくら準備するのか  リスクカバーの金額	加入目的、保険金額、保険期間を検討しながら経理処理（損金算入割合）を併せて検討する必要があります。

それぞれの目的に応じてムリ・ムダのない保険を選びましょう。

(東條)

## 4月の税務

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 給与支払報告に係る給与所得者異動届出<br/>4月1日現在で給与の支払を受けなくなった者があるときは4月15日までに関係の市町村長に届出</p> <p>2 公共法人等の道府県民税及び市町村民税均等割の申告<br/>申告期限…4月30日（道府県及び市町村）</p> <p>3 軽自動車税の納付<br/>(1) 賦課期日…4月1日<br/>(2) 納期限…4月中において市町村の条例で定める日</p> <p>4 固定資産税（都市計画税）の第1期分の納付<br/>納期限…4月中において市町村の条例で定める日</p> <p>5 3月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額納付<br/>納期限…4月10日</p> <p>6 2月決算法人の確定申告く法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・（法人事業所税）・法人住民税<br/>申告期限…4月30日</p> <p>7 2月、5月、8月、11月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告く消費税・地方消費税<br/>申告期限…4月30日</p> | <p>8 法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告く消費税・地方消費税<br/>申告期限…4月30日</p> <p>9 8月決算法人の中間申告く法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税（半期分）<br/>申告期限…4月30日</p> <p>10 消費税の年税額が400万円超の5月、8月、11月決算法人の3月ごとの中間申告く消費税・地方消費税<br/>申告期限…4月30日</p> <p>11 消費税の年税額が4800万円超の1月、2月決算法人を除く法人の1月ごとの中間申告（12月決算法人は2ヵ月分）く消費税・地方消費税<br/>申告期限…4月30日</p> <p>12 固定資産台帳の縦覧期間<br/>4月1日から20日又は最初の固定資産税の納期限のいずれか遅い日以後の日までの期間</p> <p>13 固定資産課税台帳への登録価格の審査の申出の期間<br/>市町村が固定資産の価格を登録したことを公示した日から納税通知書の交付を受けた日後60日までの期間等</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 広告コーナー

まだまだ、広告募集中です！！

※掲載料金は無料ですので、ぜひ貴社のPRにお役立て下さい。お申込みいただいた方より順次掲載しております。

## 春の入学受付中!!!

### 期間限定キャンペーン

5月末までに入学の方は、4、5月分の月謝が免除になります。



- ☆子供の個性を大切にしながら、バレエの基礎をわかりやすく、丁寧に指導します。  
小さいお子様から大人まで、それぞれの段階に合わせた細やかな指導を行っています。
- ☆子供の豊かな感性と表現力を養います。  
当スクールでは、クラシックバレエの全幕作品やコンテンポラリーダンスにも取り組んでいます。みんなで作品を作っていくことで、コミュニケーション能力や、社会性も身に付いていきます。
- ☆音楽に合わせて楽しく踊りながら、しなやかで美しい姿勢と、健やかな身体を育てていきます。

### NEWS 清水洋子バレエスクール公演のお知らせ

来る8月25日（日）徳島市文化センターにて、公演会を開催します。

【演目】★可愛い子供たちの発表会

★公演「ラ・バヤデル」

ゲスト：山本隆之さん〔平成24年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞〕

福岡雄大さん〔第44回舞踊批評家協会新人賞受賞〕

みなさまのお越しを心よりお待ちしております！！

### 清水洋子バレエスクール

徳島市津田本町5-2-116

088-662-6611

<http://yokoshimizuballetschool.web.fc2.com/>

## 編集後記

いつも「さくら通信」をご愛読下さり、誠に有難うございます。

2005年1月に顧客の皆様への情報発信の手段として発刊したさくら通信は本号で100号を迎えました。

内容の未熟さにも係わらず多くの皆様に多大なご支持を得ておりますことは事務所一同望外の喜びでございます。

今後とも皆様にお知らせしたい最新の情報を、タイムリーかつわかりやすく発信させていただく所存ですので、

ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(さくら通信編集部)

さくら通信をご覧になって、ご意見ご感想がございましたら、お電話・FAX・メール等でご連絡下さい。

.....

.....

.....

当文書に掲載された記事の無断での使用・転載・引用などは一切禁止しております。内容には万全を期していますがその内容を保証するものではありません。万一、当文書の情報に基づいて損害を被った場合についても、一切責任を負いかねます。また特定の商品奨励または中傷するものではありません。

さくら税理士法人

さくら社会保険労務士法人

労働保険事務組合 徳島県労務能率協会

〒770-0025 徳島市佐古五番町2番5号

ホームページアドレス : <http://www.skr39.co.jp/>

Eメールアドレス : kimutake@js4.so-net.ne.jp

TEL : 088-625-2556

FAX : 088-654-1181